

研究機関：広島大学

研究課題名	臓器移植領域における免疫多様性解析の臨床応用に関する研究
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科消化器・移植外科学 教授 大段 秀樹
研究期間	2020年5月28日(倫理委員会承認後)～2024年3月31日
対象者	広島大学病院移植外科にて臓器移植術の決定あるいはすでに実施した20歳以上の移植患者さんで、疫-921「臓器移植研究のためのデータベース登録」において同意が得られ採血が行われた患者さんを対象とします。
意義・目的	免疫系において主要なリンパ球であるT細胞とB細胞は、抗原認識受容体であるT細胞受容体(TCR)やB細胞受容体(BCR)を発現しています。これらの個々に異なる特異性を持ったTCR/BCRによって特徴づけられたリンパ球のコレクションをTCR/BCRレパトアと呼び、レパトア解析は、抗原特異的免疫応答においてT/B細胞のドナー特異性や感染症等における抗原特異性を評価することが可能であり、移植領域において免疫抑制療法において重要な情報になることが予想されます。しかし、レパトア解析による免疫状態評価が臓器移植治療に与える効果についてはまだ解明されていません。今回、レパトア解析を臨床情報と比較することで術後免疫抑制療法との関連性を明らかにするため、この研究を計画しました。
方法	すでに保存された血液(既存資料)を用いて免疫解析を実施します。また、診療録(カルテ)情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は身長、体重、性別、血液検査(肝機能検査、腎機能検査)です。(個人を特定可能な情報は解析に用いませぬ)
共同研究機関	<ul style="list-style-type: none"> 全薬工業株式会社(奥垣内泉・酒井亜沙子) Repertoire Genesis 株式会社(松谷隆治)
試料・情報の管理責任者	広島大学 教授 大段 秀樹
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に試料・情報を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞1-2-3 Tel: 082-257-5222 広島大学病院消化器外科移植外科 職名 准教授 田中 友加